

彫刻家の舟越桂さんが3月29日に亡くなりました。

桂さんは、クスノキを素材にした木彫りの半身像に彩色し、眼球に大理石を用いた独特の作品で知られています。2000年頃から作風が大きく変わり、それにつれて顔の表情にも変化が見られるようになります。これはいささか乱暴な言い方かもしれませんが、クールからウォームへと変化してきました。

私は1999年にメトロポリタン美術館で思いがけず桂さんの作品に出会い、とても感激したものです。また、その年に上梓した『オートバイ・ライフ』(文春新書)には、革ジャンを着たライダーを

思わせる半身像の写真を使わせていただきました。2004年に岩手県立美術館で『舟越桂展』が開催されたとき、初めて桂さんにお目にかかって、作品の写真使用を許可していただいたことへのお礼を申し上げる機会を得ました。

72歳とまだお若かったし、変化しつづける創作活動の今後も楽しみだっただけに残念でなりませんが、私たちに素晴らしい作品を残してくださって、ありがとうございました。今頃は天国で亡父保武氏、2017年に先立たれた実弟直木氏らと語らっていらっしやることでしょう。ゆっくりお休みください。

道の駅 石神の丘からのお知らせ

産直 石神の丘 9:00-18:00
TEL 0195-61-1600

家庭菜園ふれあい市



＼ 花苗、野菜苗販売 ／
産地直売組合の生産者に
家庭菜園のこと
なんでも聞いてみよう！

5月11日(土)
12日(日)

10:00~15:00
道の駅石神の丘
イベント広場

レストラン 石神の丘 10:30-18:00 (L.O.17:30)
TEL 0195-61-1602

人気メニュー 5選

- 県産豚ロースカツカレー
- 黒内豆腐とやまと豚ひき肉の麻婆ラーメン
- 濃厚味噌ラーメン
- 県産豚生姜焼き
- 若鶏の唐揚げ

満足度100%! シェフ自慢の一品
県産豚ロースカツカレー 1,150円

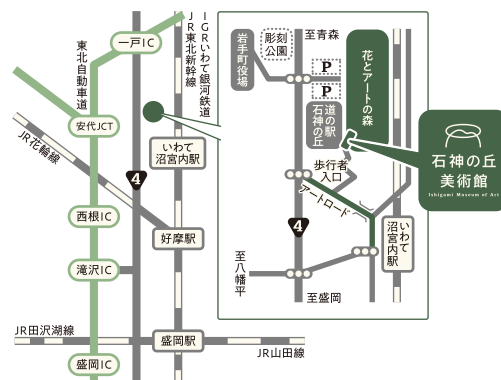


石神の丘
美術館

Ishigami Museum of Art

〒028-4307
岩手県岩手郡岩手町大字五日市10-121-21
TEL 0195-62-1453 FAX 0195-62-1477

開館時間 9:00~17:00 (最終入場 16:30)
休館日 月曜日 (月曜日が祝日の場合その翌日)
年末年始 (12/29~1/3)



Ishibi



Ishigami Museum of Art

石神の丘美術館通信 イシビ

2024. 5 Vol.245



増子 博子 《側の器》シリーズ
2020年4月-2024年4月 ミクストメディア 作家蔵

石神の丘美術館コレクション(収蔵品)とゲストアーティストの作品をあわせて紹介するシリーズ企画の第1弾「COLLECTION+ VOL.1 まなざしのあいのり 土地の声を聞く、探る、表す」が好評開催中です。初回のゲストアーティスト・増子博子さんの《側の器》は、2013年から一日一枚描き続けているドローイングシリーズ。今展では、岩手県葛巻町で過ごした期間を含む2020年から2024年までのドローイングを棚に収めています。まるで増子さんの頭の中を覗くような展示。どうぞお手を触れずにご覧ください。

COLLECTION+ VOL.1

まなざしのあいのり

土地の声を聞く、探る、表す

会 期：2024年 4月 20日(土)～6月 2日(日)
9:00～17:00 (最終入場16:30)

休 館 日：5/7(火)、13(月)、20(月)、27(月)

観覧料金：一般 300円／高校生以下無料

※〈花とアートの森〉共通観覧券は一般700円、
高校生以下無料(学生証をご提示ください)

このたび、石神の丘美術館では、当館コレクション(収蔵品)とゲストアーティストの作品をあわせて紹介するシリーズ企画をはじめます。初回となる本展では、当館コレクションより、30点からなる組写真、田村淳一郎《昭和の農村》をとりあげ、ゲストアーティストに増子博子(ますこ ひろこ／1982年宮城県生まれ、栃木県在住)を迎えます。

増子博子はさまざまな土地に暮らしながら、そこで出会ったもの、その土地に積み重なった事柄をほぐし、そこから得たことを養分とするように作品を制作しています。2020年から2023年にかけては、岩手県葛巻町に暮らし、そこで上高山兼太郎(1926-1988)の木彫り熊と出会い、東北で生まれた木彫り熊の調査・研究の深まりが作品制作へとつながってきました。

上高山兼太郎の出生地、葛巻町冬部地区は、一戸町生まれのアマチュアカメラマン田村淳一郎が若き日に通い、農村の暮らしと子どもたちの姿を捉えた場所のひとつでもあり、今に残る木彫り熊や写真作品は、昭和の一場面をそれぞれの角度から証言するものになっています。

一方で、増子博子が制作する作品には、土地に積み重なったものにそっと根をおろしつつ、時を隔て今、それを受け取る増子自身の思考や感情がたゆたうように広がる様がみられ、作品は画面内で成長を続けているかのようにもみえます。

「COLLECTION+(コレクションプラス)」と名付けられたシリーズ企画の第1弾。足し算のように、あるいは掛け算のように、作品を通じて昭和の岩手県北の暮らしや文化、それぞれの土地や人に堆積したものを見つめなおす機会となれば幸いです。



写真 奥／田村 淳一郎 組写真《昭和の農村》
手前／増子 博子《側の器》



写真 奥／増子 博子《くまんげん》
手前／上高山 兼太郎《木彫り熊》

関連イベント

- トークイベント
「それぞれのフィールドワーク・土地の歩き方」
2024年5月19日(日) 13:00～15:00
各々のテーマで土地を歩き、探り、表現する方々のお話。
出 演／増子 博子(出品作家)、高坂 真(『へのへ』編集人)、
佐藤 嘉宏(野生動物写真家)、岩手大学ツキノワグマ研究会
聞き手／齋藤 桃子(石神の丘美術館 学芸員)

- ・参加をご希望の方はホールにお集まりください(予約不要)
- ・座席数に限りがあり、立ち見をお願いする場合があります
- ・イベント参加は無料です

企画ギャラリー

新シリーズ企画 COLLECTION+			戸村茂樹 田村晴樹 Tomura Shigeki Tamura Haruki		柴田真樹 版画コレクション 2		
まなざしのあいのり 土地の声を聞く、探る、表す 4/20(土)～ 6/2(日)			ふたりの水彩と版画 6/15(土)～ 8/25(日)		ルオーに魅せられて 版画に魅せられて 9/7(土)～ 11/4(月・祝)		
【観覧料金】 一般 300円 高校生以下無料 *花とアートの森 共通観覧券 700円			【観覧料金】 一般 300円 高校生以下無料 *花とアートの森 共通観覧券 700円		【観覧料金】 一般 300円 高校生以下無料 *花とアートの森 共通観覧券 700円		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

花とアートの森

【花とアートの森
夏期シーズ観覧料金】
一般 500円
高校生以下無料

お得な企画ギャラリー共通券や
年間パスポートもございます



フェスタ期間限定ガーデンも登場!
花とアートの森フェスタ
6/29(土)～7/28(日)



ラベンダーやアジサイ、多くの宿根草が見ごろとなる6～7月にかけて「花とアートの森フェスタ」を開催します。今年は期間中、空の広場・芝生にフラワールガーデンが登場。また、クラフト作家の品がならぶ特設ショップやレストラン石神の丘で提供されるオリジナルスイーツもお見逃しなく。

ロックガーデンや空の広場では、
春から秋まで様々な草花が楽しめます



お知らせ Information

石神の丘美術館 友の会 令和6年度会員募集中

石神の丘美術館友の会は、美術館を支え盛り上げていこうというアート好きな方々の集まりです。主な活動内容は、美術館主催事業のサポートや展覧会作家との交流、コンサートや野鳥観察会などのイベント企画・運営です。

年会費 個人 2,000円／法人 1口 10,000円

特 典 ●〈花とアートの森〉観覧無料
●〈企画ギャラリー〉観覧無料
●美術館展覧会案内の送付 など

期 限 2024年4月20日～2025年3月30日まで

○休館日(毎週月曜日／年末年始／4月中旬メンテナンス休館／臨時休館など)はご利用いただけません
○入館される際は受付に友の会会員証をご提示ください
ご提示がない場合、特典は受けられません

〈花とアートの森〉 年間パスポート 販売中



年間パスポートは、ご購入日から1年間〈花とアートの森〉を何度でもご利用いただけます。植物好きな方、おさんぽ好きな方におすすめです。

価 格 一般 1,200円／75歳以上 600円

特 典 ●〈花とアートの森〉観覧無料

期 限 パスポート購入日より1年間

○休館日(毎週月曜日／年末年始／4月中旬メンテナンス休館／臨時休館など)はご利用いただけません
○〈企画ギャラリー〉を観覧される場合は別途料金が必要です
○入館される際は受付に年間パスポートをご提示ください
ご提示がない場合、特典は受けられません